WORLD ROWING U23 CHAMPIONSHIPS 2014 REPORT 4 (7/20)

本日から大会の公式な練習日となり、シャトルバスやADカードによるさまざまな管理が始まることになるが、初日ということもあるので注意が必要である。

９:００発のシャトルバスでホテルを出発の予定であったが、そのシャトルバスが全く来ない。多少の遅れはあるだろうと思いつつ、日本の事務局の方とホテルのフロントの方から組織委員会の担当者に連絡を取っていただいた。説明としては、初日で色々なバス会社さんが入っており、うまくコントロールできていなかったとのことであった。すぐにバスを向かわせるという説明をもらえたのが９:３５頃で、結局バスが来て出発できたのが９:５５頃であった。

シャトルバスの運行が開始。
この日はJAPANの貸切状態。

１０:４０バレーゼ湖に到着

シャトルバスは我々の宿泊先のほか、もう一か所を経由してバレーゼ湖に到着するルートであることがわかった。

そのまま、ADカードの作成に向かった。日本はオーストラリア、イタリア、南アフリカに続いて４番目に手続きをに来たようだ。しかしここでもアクシデント発生。写真撮影のシステムにトラブルが発生し、手続きに１時間程度かかってしまった。その上ADカードは午後に取りに来てほしいとのこと。かなり混乱しているようであったがスタッフは一生懸命作業を続けていた。

ここで、昨日までのような暑く厳しい天気でないことから、桝田コーチの判断により午前の練習後、ホテルには戻らずに現地で昼食を摂り午後の練習に臨むことになった。ホテルに予定が変わったことを連絡し、変更したスケジュール通りに行動。選手は柔軟に手荷物預かり所の機能やエルゴメーターのウォームアップゾーンなど早速会場内の施設を有効利用しながら集中力を保ち続けてくれた。

手荷物預かり所

エルゴメーターのウォームアップゾーン

この日も続々と新しい国が現地入りしてきた。また天候が晴れ、曇り、雨を激しく繰り替えす不安定な天候であった。天気予報によると、この先しばらくは雨天の予報。このような天気が続くのかもしれない。

参加国も徐々に増えてきたため、艇置きラックも次第に埋まってきた。

15:00　ADカードを受け取る

スタッフの変更部分がされていないところがあったため、申請書類のコピーを見せ確認しすぐに対応してもらえた。相変わらずADカード作成所は慌ただしかったが、作業が着々と進められている様子が見て取れた。その後チームマネージャーインフォメーションセンターを確認。私が行ったときは人は一人しかいなかったが、艇置き場から近いので助かりそうだ。

ADカード作成所の様子。黄色い袋に国ごとのADカードが入っている右手のスタッフはラミネート加工をひたすら続け奥のスタッフはネックストラップをつける作業をしていた。左手グレーの服のスタッフは、ボランティアへの指示や問い合わせへの対応を終始笑顔で行っていた。皆さんに感謝！
手前は受け取ったADカードをチェックしているニュージーランドのスタッフ。

15:30　午後の練習開始

現地スタッフに見送られる　BW1x　榊原選手（早稲田大）

トレーニング風景　BLM1x　古米選手（日本大）

トレーニング風景　BLM2x　左より濱上選手（関西電力美浜），山口選手（日本大）

トレーニング風景　BLM2-：左より　林選手（中央大），藤田選手（一橋大）

いざ出艇！！　BLW2x：　冨田選手（明治大）

トレーニング風景　BLW1x　納田選手（関西電力小浜）

17:00　練習を終えホテルへ戻るシャトルバスに乗り込む

シャトルバス乗り場に行くと、他のホテル行きのバスはあるものの、我々のホテルに向かうバスがなかった。スタッフに確認すると、半分「日本の交通機関のように正確には動かずにごめんなさい」というようなことを言いながらも、一生懸命対応してくれた。結局行き先がはっきりしていなかったバスが我々のホテル行きのバスに変更され、帰路に就くことができた。